



2022年11月9日

各 位

会 社 名 : シンデン・ハイテックス株式会社  
 代表者名 : 代表取締役社長 鈴木 淳  
 (コード番号 : 3131)  
 問 合 せ 先 : 取締役 (管理本部管掌) 田 村 祥  
 (フリーコール : 0800-5000-345)

## 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、以下のとおり、最近の業績動向を踏まえ、2022年5月12日に公表しました2023年3月期通期連結業績予想を、本日開催の取締役会において、下記のとおり修正することを決議いたしましたのでお知らせします。

### 記

#### ●業績予想の修正について

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 45,100	百万円 1,570	百万円 1,250	百万円 860	422円89銭
今回修正予想 (B)	44,400	2,150	1,260	865	428円70銭
増減額 (B-A)	△700	580	10	5	
増減率 (%)	△1.6%	36.9%	0.8%	0.6%	
(ご参考) 前期実績 (2022年3月期)	43,458	1,501	1,062	748	367円77銭

(注) 2022年8月23日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議いたしました。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。

#### 修正の理由

2023年3月期通期連結業績予想を修正する理由は、以下のとおりです。

年度前半は、システム製品分野とバッテリー&電力機器分野は、一部の部品供給難を背景とした顧客の生産調整の影響を受けましたが、中核分野の半導体製品分野は、年度前半の前倒し需要を含む旺盛な需要を取込めたことが業績を牽引したことに加え、再構築分野であるディスプレイ分野は、メーカー構成の変化により利益面で寄与しました。そして、当初業績予想時からの急激な円安進行により、売上高及び営業利益において当初の想定を上回りました。

年度後半の見通しは、足元ではメモリをはじめとした半導体製品の需給ひっ迫の状況が緩み、価格が下落基調にあることと、各種部品の需給ひっ迫が解消しつつある中で顧客の在庫水準が高めに推移していることにより、半導体市況は厳しさを増し、ディスプレイ市況も同様と見込んでおります。その一方、システム製品分野とバッテリー&電力機器分野における一部の部品供給難は、徐々に改善するものと見込んでおります。



また、足元において円安が進行しており、それに伴う為替差損を営業外費用で計上しております。その影響につきましては、2022年8月8日公表の「為替差損（営業外費用）の計上に関するお知らせ 2. 業績に与える影響」に記載のとおり、第3四半期以降の売上総利益においてリカバリーし、現段階では当該為替差損が、通期連結経常利益予想値へ大きな影響を与えないものと見込んでおります。

上記のとおり、年度後半から市況の潮目に変化し、厳しい事業環境に突入するものと見込んでおりますが、上期の業績を踏まえ、下期のビジネスの状況を精査し、昨今の円安基調で推移している為替相場を考慮した結果、通期連結業績予想を修正することとしました。

なお、今後の為替相場に急激な変動がある場合は、修正した通期連結業績予想数値に変動の可能性がります。

(注) 上記の予想に関する記載は、本資料の作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績に関する事項は、今後の様々な要因により本記載数値と異なる可能性があります。

以 上